



社会福祉法人福生会

# 太陽

令和4年4月発行

107号

題字は設立者 谷口 充



ようやく暖かい春がやってきました



## 苦情解決窓口のご案内

本事業所ではご利用者の皆様からいただく苦情・要望に対し、適切に対応するため、以下の通り苦情解決体制を整備しています。苦情・要望は、面談や電話、書面などにより苦情受付担当者等にお申し出ください。また、施設・保育園内に設置されている「ご意見ご要望箱」に投書していただくこともできます。

苦情解決責任者	村尾 和広	施設長	
苦情受付担当者	藤原 佐智	介護老人福祉施設	TEL 43-3322
	山本 裕恵	短期入所生活介護事業所	
	道祖尾 美香	通所介護事業所・三朝	TEL 43-3330
	長岡 弥生	ケアハウス	TEL 43-3340
	石賀 将朗	グループホーム仁の里	TEL 43-5007
	田中 恵理	居宅介護支援事業所	TEL 43-3495
	清水 裕美	通所介護事業所・西郷	TEL 27-6070
	松浦 靖明	賀茂保育園	TEL 43-0555



皆様の思いや願いをお聴かせください。



社会福祉法人 福生会

〒682-0125

鳥取県東伯郡三朝町横手396番地

電話 0858-43-3322(代表)

FAX 0858-43-3321

ホームページ <http://www.sankien.jp>

専用回線をご利用ください

### 三朝町横手396

・介護老人福祉施設 43-3322

・通所介護事業所 43-3330

・ケアハウス三喜苑 43-3340

・居宅介護支援事業所 43-3495

### 三朝町山田108-5

・グループホーム仁の里 43-5007

・デイサービス(サテライト) 43-5008

### 三朝町本泉916

・三朝町立賀茂保育園 43-0555

### 倉吉市伊木265-3

・三喜苑西郷通所介護事業所 27-6070

## 新型コロナウイルス 感染症対策について

新型コロナウイルスが流行し、3回目の春となりました。当法人におきましては、全職員が新型コロナウイルスについて正しい認識を持つとともに、感染対策マニュアル等を通して、マスク着用、手洗い、手指消毒、毎日の検温と日頃の体調管理を行っております。

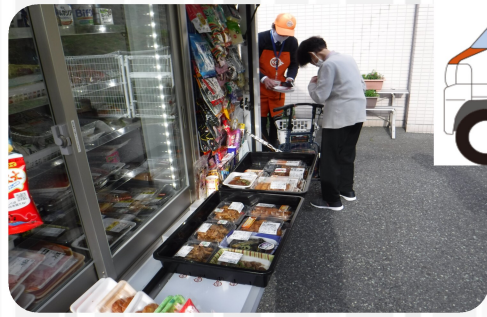
今後も感染状況によって、利用の制限やお願い等をさせていただく可能性がございます。ご利用者・ご家族の皆様におかれましては、大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 編集後記

新年度がスタートしました。広報委員会も新しいメンバーとなりましたので、皆様に楽しみにしていただける広報紙を作成していきたいと思っております。ご期待ください。

# 移動スーパー とくし丸来苑

今話題の「とくし丸」がケアハウスにもやってきました。3月24日に初来苑。コロナ禍で外出行事ができない状況でしたので、ご利用者の皆様は、自分で見て選んで買い物ができ、大満足の様子です。毎週1回・木曜日に来苑予定です。



何より安心・安全で、しかも商品の品数が多いことよまた、事前に連絡を入れておくと、次回もってきてくださいます。とてもありがたいです。移動販売の日が楽しみです。

# バレンタイン クッキング

## グループホーム仁の里

グループホーム仁の里では、毎年、2月にバレンタインデーのイベントに合わせて「バレンタインクッキング」を行なっています。今年は、たこ焼き器で「ベビーカステラ」を作りました。トッピングも楽しみながら、おいしくいただきました。手作りお菓子は格別に美味しいです。



# 節分祭 特養

2月は節分。毎年、恒例の豆まきです。職員が鬼に扮し施設中を回ります。ご利用者の皆さまは、本気になり鬼に向かって一生懸命に豆をまかれました。最後は、鬼と仲良く記念撮影です。



# お別れ会



## 賀茂保育園



# さくら組さん お元気で!

年中組主催でお別れ会を開催しました。いつもと違って劇場形式にしてみました。映画のチケットのような招待状を作って、チケットにハンコを押したり、さくら組を席までエスコートしたり、今日の為に各クラスさくら組さんをお祝いしたい気持ちで準備してきました。いつもの雰囲気と違って、皆ドキドキワクワク楽しいひと時となりました。



# 三喜苑西郷 ひな祭り ケアハウス

3月3日の雛祭りに流し雛作りとお茶会を行いました。お茶会では着物を着た職員がお抹茶を振る舞いました。お抹茶を召上がった方からは「結構なお点前でした」「本当においしい」「何十年振りに飲んだわ」と大変好評でした。急遽、着物を着た職員との撮影会も始まり、楽しい雛祭りとなりました。

3月の温かい日に三朝温泉の雛めぐりに出掛けました。「私のお雛様は疎開して分からなくなっちゃった」「我が家の娘にはこんないいお雛さんはしてやれなかった」など、それぞれの思いをはせられました。そして、温泉街を歩きながら「子供の頃は、(温泉街の道は)大きな道だと思っていたが、今歩くと狭いなあ」と久しぶりの温泉街を楽しみ散策されました。

